

## 九 来賓祝辞

小学校長 P T A 会長 旧職員など最少人数にしほり、一人三分以内に依頼します。

## 十 紙芝居

出入りの楽な場所に坐った子供が二人でステージに持って行き、テープを流します。この役も前出の代表の一人の役目

## 十一 記念品贈呈

十二 記念品授与クラス代表の二人の役目

## 十三 理事長あいさつ

十四 卒園のうた・園歌

## 十六 閉会の辞

## 十七 園児退場

ホタルの光の奏する中で、ステージに飾ってある赤いカーネーション二本とフリージア二本の花束を、理事長・園長来賓の方々より一人一人が手渡され、証書の筒と大切に持って退場し各クラスへ戻ります。

何の変哲もない卒園式ですが、子供本位に考え毎年改

良しています。紙芝居は今年度からスライドにして、テープの説明をメインにする予定であります。

謝恩会は親と保育者だけで開いていただくようにして、子どもたちは年中少児と「お別れ会」を在園児より鉢植えのイチゴを卒園児からはクラスで使う、布を貼ったダンボールとか、紙粘土でつくったままごとの御馳走などを贈るようにしています。

(埼玉県・木の実幼稚園)

## 私の園の修了式

小坂田玲子

修了式は幼稚園生活最後の日であり、また新しい門出への出発の日でもあります。この幼稚園最後の保育の日である大切な一日を、大人中心のお別れの儀式に終わらせたくありません。できる限り日常生活の延長として、楽しく落ちついた雰囲気の中にも、多少の厳しさも加わっ

た、しっとりとした心の通い合う式にしたいと心がけております。

以下、私の園の修了式について述べたいと思います。

### 一、修了式を迎えるまでの準備と練習

式の練習や準備にあけくれた、幼稚園生活を終わらせるといふことのないように、普段の保育の中で見通しをたて、式に必要なことを無理のないように少しずつ入れていくようにしています。ですから式次第に従っての練習は一回やればそれですみます。普段存分に自分の遊びを遊んでいる子どもは、ことさらに練習しなければと目くじらを立てなくても保育者がこうしてほしいと思うことは、自然のうちにもこちらの思いを感じとってやってくれます。また、練習を積まなくてもできてしまうという本当に不思議な現実がおこるようです。それは普段の生活をいかに大事にしているかということ、生活から離れない式というものを心がけているからではないかと思われまます。

### 二、会場

式が外面の意匠にこだわりすぎて内面が空虚になって

しまうことのないように、温かいぬくもりのある会場設営になるように工夫しております。会場は、毎日使っている修了児の保育室で行います。

### 三、修了証書

修了証書	
園印	氏名
あなたは 幼稚園の課程を修了したことを 証します。	
年月日	生年月日
第 号	氏名印
東京都文京区立駕籠町幼稚園長	
割印	

修了証書は、右記のような一部印刷のものを使用しております。氏名、生年月日等は、園長が本人の戸籍に登録されている文字を、楷書でいねいに記入します。記入が終わると職員が、一枚一枚心をこめて押印し作成し

ます。

#### 四、式次第

##### 式次第

- 一、はじめのことば
- 二、園歌
- 三、修了証書をわたす
- 四、園長の話
- 五、お祝いのことば
- 六、お別れのことば
- 七、修了のうた
- 八、おわりのことば

#### 五、式の流れ

式は十時に始まります。九時四十分頃、保護者が着席し、続いて在園児が入場します。会場には、四季折々の曲が流れており、静かで落ちついた雰囲気になるよう配慮しています。九時五十分園長が来客を案内して入場します。つづいて修了児が胸に手造りの花をつけて入場し

てきます。それを拍手で迎えます。全員着席すると主任の司会、進行により式が始まります。

1 司会がはじめの言葉をいいます。次に全員起立してはじめの礼をします。

2 起立したままで園歌をうたいます。

3 園長からひとりひとりに修了証書が渡されます。修了証書の文字は最初の幼児のものを読みあげます。次からは名前のみとし、「おめでとう」のお祝いの言葉を添えて、ていねいに渡されます。修了児は名前を呼ばれたら元気に返事をして、園長の前まで歩いて行き「ありがとうございます」と言って受け取ります。その子なりの歩き方で進み、いただく姿の中にその子のあり方の全てがあるように感じます。拍手がおこり参会する大人たちが感動するのは、小さいながらも一生懸命に生きている、その姿、その歩みを目の前にするこの時でありましょう。証書は開いたまま渡され、受け取った後、うしろに用意してある盆の上に乗せて着席します。自分の子どもの名前を呼ばれた保護者は共に立ち、皆から祝福を受けます。会場には、子ども達

が二年間のうちに歌ってきた歌を静かに流します。

4 園長から修了児に、励ましのことばがあります。

5 教育委員会の方がお祝いのことばをくださいます。一

二分程度です。

6 父母の会々長がお祝いのことばをくださいます。来客のお言葉は二名までにとどめ、他の方は紹介のみで済ませます。祝電は、修了児に関係の深いもののみ司会者が読み上げ他は名前だけ伝えます。

7 お別れのことばは、園生活の思い出を中心に在園児が呼びかけ式に言います。その内容は、保育者と子ども達とで前もって話し合い歌をみんなで作ります。歌は

「卒業の歌」松崎勲作詞で、一番を在園児、二番を修了児、三番を全員で歌います。

8 修了の歌をうたいます。曲は「卒業式の歌」天野蝶作詞で修了児のみで歌います。これが幼稚園生活最後の歌になります。

9 司会のおわりのことばで式は終了します。式の所要時間は約三十分です。修了児と保護者はその場に残り、来客を園長が案内して退場します。つづいて在園児が

退場します。

#### 六、式終了後

修了児は円形に座り、担任より修了証書を筒に入れてもらいます。二年間幼児と共に過してきた担任にとっては、その重みを肌で感じ、感無量の時でもありましょう。巣立ちゆく子ども達の健やかな成長を祈りつつ語らい園庭に出ます。園庭には在園児が自分達で作ったお花のアーチでトンネルを作り待っています。保護者と一緒にお花のトンネルを通りぬけ、三三五五、帰路につきます。

以上のような方法で進めておりますが、幼児教育の本道を生かした、よりよい式を願いつつ、毎年のことながら工夫をしております。

(文京区立駕籠町幼稚園)